

高勿来 同窓会報

第48号
発行者
勿来高等学校
同窓会
いわき市勿来町
窪田町通2の1
県立勿来高等
学校内

改姓・勤務先・住所
変更は速やかに事務局
までご連絡下さい。

TEL (0246)
65-2221



ごあいさつ

同窓会会長 金成武夫

卒業生の皆さん、本校所定の課程を立派に修了され、晴れて卒業を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。いよいよ高校生活を終えられ社会人に、上の学校へ進学される訳ですが、不安と期待で胸がいっぱいではないでしょうか。

さて平成二十三年三月十一日午後二時四十六分、三陸沖を震源地とする観測史上最大のマグニチュード(M)9.0の激震が東日本を襲い、時をおかず想像を超える規模の大津波が本県を含む太平洋側の海岸に打ち寄せ予想だにしない未曾有の大惨事が起きました。

津波は人を、町を、そして原子力発電所を飲みこんでしまいました。改めて感謝申し上げます。改めて感謝申し上げます。

原発事故の収束は見えづ健康への影響、農作物などへの風評被害も県民に重くのしかかりました。避難を余儀なくされた原発周辺の住民、正に未曾有、想定外、悪夢、さまざまに形容された大震災は県民に大きな課題を残しました。

そんな中であって、こんな時代だからこそ、皆さんたち

の若い力が必要なのです。必ずや暗闇の中から明るい心が見えてくることを信じて頑張ってもらいたいです。

いつの時代でもいろいろな模索をしながら、社会の変革にも対応できるような生徒が数多く巣立つことを願っております。

卒業生の皆さん、この三年間で学んだ事を基礎とし、社会でもまれながら自分自身を見失う事なく、自分の居場所を確保し、謙虚な態度と努力する姿勢が大事です。自分の信じる道をしっかりと、さまざま困難に耐えて、物事をやり抜く忍耐力を身につけ、

が有名です。「後漢書」の「衡の伝記に「彌衡逸才(いつさい)有り、少(わか)くして孔融(こうゆう)と交わる。時に衡末(いま)だ二十に満たず、而(し)こ)うし

何事にも知恵をだし、自分の信じた道を力強く歩んでほしいと思います。

そして世の中から必要とされる人間になってください。時の流れを感じさせながら、この伝統ある勿来高校の卒業生として、一生懸命頑張る事が更なる母校の発展につながり、さらに創立七十周年につながっていくものと確信しております。

新しい門出に当り、皆さんの輝かしい前途を心から祝福いたしますとともに、母校のますますのご発展をお祈り申し上げます。



同窓会便り 忘年の友

校長 鎌倉雅臣

まもなく一年が経とうとしています。新たに本校を卒業し、晴れて同窓生として、勿来高校同窓会にお迎えただけの感謝いたします。特にこの一年間は忘れることのできない年でありました。東日本大震災、津波、原発事故等、二重にも三重にも不幸が重なり、多くの同窓生の皆様の安否が心配されました。その中であって、いちはやく本校の状況を心配し駆けつけてくださいました。金成同窓会長を始めとする同窓生の役員の皆様を中心とした結束力の強さは、本校にとって大変心強いもの

じます。その共通性の故、多くの同窓生が集い交歓し、互いの消息を確認しあうことが大切となってまいります。横

差が離れた友人関係を言うものであり、古く後漢の後半西暦一八〇年代の頃の話が発祥です。

中国では後漢の末(三世紀初)、彌衡(でいこう)の話

て融は已(すで)に五十、忘年の交を為(な)す(彌衡は人並みはずれた才能があった。年若くして孔融と交わった。その時、衡は二十歳にならなかつたが、融はもう五十

年齢に関係なく相手を尊敬し、交誼を結ぶというの

は簡単なようで簡単ではありません。その簡単でないことが出来るような相手に巡り会えること、またそうした人物になることが大切です。ただ漫然と生きていくと、忘年の友など作ることは出来ないでしょう。

本校の同窓会も、年齢差の隔てなく、いつまでも交遊を続け、母校の支えとなつて頂ければ幸いです。

関の子広場ボランティア活動

関の子広場は、JR勿来駅前に拠点をおく民間交番です。勿来高校では関の子広場と連携してのボランティア活動を展開し、今年で5年目となりました。1・2年生は金曜日の午後のホームルームの時間を利用し、クラス単位で勿来海岸や駅前の清掃活動などをおこなっています。また、水曜日の放課後には生徒会役員や有志が集まり、駅トイレの清掃や防犯活動など、様々なボランティアに取り組んでいます。





東北管区警察局長・交通安全協会会長連名表彰 優良学校賞 安全・安心なまちづくり関係功労者 内閣総理大臣賞

本年度は、これまでの勿来高校生のボランティア活動が認められ2つの名誉ある賞を頂くことができました。

一つめは、東北管区警察局長・交通安全協会会長連名表彰 優良学校賞です。今回の表彰では、福島県内の高等学校で本校のみの受賞となりました。二つめとして、協同でボランティア活動をおこなっている『関の子広場ボランティア』が安全・安心なまちづくり関係功労者 内閣総理大臣賞を頂いたことです。これを受け、警察庁主催の防犯ボランティアフォーラムに、関の子広場の方達に加え本校生徒会長の清野七色華（せいのにじか・2年）も出席し、これまでのボランティア活動について発表をおこないました。

今回は賞を頂く大きな要因となった、勿来生が取り組んでいる多彩なボランティア活動についてご紹介いたします。

交通安全運動のボランティアとしては、いわき南警察署にご協力を頂いて活動をおこなっています。学校向かいのマルト窪田店では、1学期に1回程度のペースで声がけしながらのビラ配りを例年おこなっています。これまでは生徒会役員や一部有志の参加が多かったのですが、最近では野球部やサッカー部、バスケ部や演劇部などの現役部員も参加し、いつも以上に賑やかに活動しています。今年度はさらに活動を広げ、マルト中岡店にておこなわれた『夏の交通安全運動出動式』に初めて参加しました。生徒会役員と生活安全委員の生徒がパトカーや白バイも並ぶ式に出席し、式中で生徒会長が交通安全を宣言いたしました。式後には、買い物に訪れた地域の方々にビラ配りと声がけをおこないました。

次に地域行事へのボランティア参加をご紹介します。今年度は『いわきシーサイドウォーク』と『がんばっぺinしとき祭』に運営補助として参加しました。しとき祭では、第7代同窓会長の緑川恵男さんから声がけ頂き、生徒たちは来場者の誘導や炊き出しなどをおこないました。空き時間にはダム湖周遊のモーターボートにご厚意で乗せて頂き、参加生徒達にとっても、思い出深い夏の日になったようです。シーサイドウォークには去年に続いて2年目の参加となり、駐車場で警備や受付補助など幅広く活躍しました。この際には、背面に勿来高校の校章と名が入ったブルーのジャンパーを着用しました。こちらは同窓会のご厚意で頂いたもので、会場内の勿来生のはたらきぶりを地域の方々に強くアピールすることができました。



泉公民館にて炊き出しボランティア

3月に発生した東日本大震災では、いわき市も大きな影響を受けました。勿来高校は震災後に春休みとなりましたが、一部の生徒から何かボランティアをしたいとの声があがり、避難所への炊き出しのボランティアをおこないました。すでに支援物資の輸送に携わっていた関の子広場ボランティアに手配をして頂き、有志生徒と保護者が炊き出しとして近隣の避難所へ伺いました。情勢が不安定な中での勿来生の頑張り、行く先々で多くのお褒めの言葉を頂きました。

生徒たちも大変な不安や苦勞を抱えた一年ではあったと思いますが、情勢に負けず、のべ200人を超える勿来生がボランティア活動に参加しました。活動の中で生徒達は様々なことを学び、成長したように見受けられます。勿来生のボランティア活動にこれからもご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。



防犯ボランティアフォーラムへ参加

<本年度の取り組み>

- 3月31日 炊き出しボランティア（勿来第二中体育館）
- 4月6日 炊き出しボランティア（泉公民館）
- 5月14日 交通安全キャンペーン（マルト窪田店）
- 6月10日 防犯キャンペーン（マルト窪田店）
- 7月15日 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式（マルト中岡店）
- 7月31日 がんばっぺinしとき祭運営補助
- 10月2日 赤い羽根募金活動
- 10月5日 高齢者宅訪問ボランティア
- 10月11日 関の子広場ボランティア安全・安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰
- 10月11日 東北管区警察局長・交通安全協会会長連名表彰 優良学校賞
- 10月23日 警察庁主催 防犯ボランティアフォーラム参加（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- 11月13日 いわきシーサイドウォーク 運営補助
- 12月21日 交通安全キャンペーン（マルト窪田店）



関田地区にて高齢者宅訪問ボランティア



しとき祭 緑川元同窓会長と



出動式 マルト中岡店にて



いわきシーサイドウォーク・運営補助

総 会 報 告

平成二十三年三月十一日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興を遂げられますことをお祈りいたします。

勿来高校同窓会では、大規模な余震がしばらく続く恐れがあることから、六月十六日に同窓会総会を同窓会役員のみで開催させて頂きました。総会の協議事項については、必要最低限な案件のみと致しました。

次年度には同窓会創立六十年を迎えることから、同窓会総会を盛大に執り行うべく、役員会でも準備を進めていく所存です。多くの同窓生の方々のご出席をお待ちしております。

ご案内

平成二十四年度

同窓会総会

日 時 平成二十四年 六月九日(土)

場 所 クレハ会館

懇親会 午後六時三十分

懇親会会費 三、〇〇〇円

◎多数のご出席を心よりお待ちしております。

犯罪被害者支援講演会



一月十八日(水)、福島県警察本部警務部長・警視正の小笠原和美様を講師に迎え、本校で犯罪被害者支援講演会を開催いたしました。今回の目的は、被害者に優しい「ふくしまの風」運動の一環として、喫緊の課題として取り上げられている性犯罪被害者等の置かれている現状や、被害者を支える地域全体の活動の必要性について理解と協力を深めることにありました。当日は、本校生徒・教職員だけでなく、いわき南署長様をはじめとした警察関係の皆様や、ハートフル協議会や関係の子ボランティアなど関係団体の皆様、近隣の小・中・高校の校長・教員など、六十名以上の参加者をお招きし、盛大に催すことができました。

性犯罪については、若い女性にだけ起きるとか、挑発的な服装が被害を招くといった様々な誤解があります。また、抵抗しなかったのは合意があったからなどの偏見から、被害に遭った場合でも表面化しづらく、被害者が泣き寝入りすることも多いとのことでした。こうした現状は、高校生はもちろんのこと、社会全体での理解・認識が深まっているとは言えないものです。

そのような中、小笠原様からは性犯罪についての基本的なところからご講話いただき、今後の指針を得ることができたと思います。(1)加害者は言葉たくみに接触してくる(2)加害者は「知らない人」ばかりではない(3)インターネット上のリスクなど、身近に何気なく潜んでいる危険性を認識すべきであるという指摘によって、性犯罪未然防止の第一歩を学ばせていただきました。万が一、被害に遭ってしまった場合の対処法についても、具体的に教示いただきました。また、(1)すぐに病院に行き、緊急避妊薬を七十二時間以内に服用すれば妊娠を避けることができ(2)精神的に辛い状況ではあるが、被害の証拠は確実に残し、警察に預けるなど、実践的な対処法を学ぶことができました。「警察は、あなたの味方です」という心強いメッセージとともに、いわき中央署をはじめ、県内には二十四時間女性警察官が対応してくれる署が四つあること、プライバシーは保護すること、被害に遭った場合は臨床心理士によるカウンセリングを無料で受診可能で、さらには医療費を公費で負担できる制度的保障など、被害者が決して泣き寝入りすることなく、きちんと支援してもらえたいという安心感を与えていただきました。

一方で、被害者だけでなく、家族をはじめとしたまわりの人間にもアドバイスをいただきました。被害について打ち明けられた時には、本人を決して責めることなく、事実を受け止め、精神的な苦痛を分かち合うようにサポートしてほしいということでした。勇気を出して打ち明けてくれたことを、まず理解してあげることが大切であるということも学びました。

性犯罪について、その未然防止から事後対応、被害者の支援体制作りなど、幅広い視点でご講話いただくことができ、生徒たちも非常に勉強になったと思います。このような非道な犯罪がなくなることを祈りつつ、普段の生活を見直す契機になった有意義な講演会となりました。この場を借りて関係者の皆様に感謝の意を表するとともに、今回学んだことを今後の学校での指導に生かしていきたいと決意するところです。

に残し、警察に預けるなど、実践的な対処法を学ぶことができました。「警察は、あなたの味方です」という心強いメッセージとともに、いわき中央署をはじめ、県内には二十四時間女性警察官が対応してくれる署が四つあること、プライバシーは保護すること、被害に遭った場合は臨床心理士によるカウンセリングを無料で受診可能で、さらには医療費を公費で負担できる制度的保障など、被害者が決して泣き寝入りすることなく、きちんと支援してもらえたいという安心感を与えていただきました。

弓道部
インターハイ地区大会で悲願の女子団体優勝！これが今年度の最も大きなニュースでした。年度当初は東日本大震災の影響で部活動が一切できず、この先どうなるのかと選手たちも大きな不安を抱えて過ごしました。インターハイ地区大会まで一ヶ月を切っしてから活動を再開したものの、十分な練習ができませんでしたが、蓋を開けてみれば盤石の弓道で二位以下に大差をつけての優勝。本校としては数十年前ぶりに優勝盾を持ち帰ることができました。その後の県大会では逆に力を発揮できないうまま終わってしまいました。結果を残してくれたと思います。思えば、上級生部員一名

という危機的状況の中で入部してきた彼らは、勿来高校弓道部を本当によく立て直してくれました。同じ目標に向かって努力を積み重ねる姿は、勿来高校生の鑑でもありました。そのような先輩たちに引け張られるように、二年生も着実に実力をつけてきています。人数は男子三名と少ないですが、新人戦地区大会では好勝負を展開し、個人戦では一名が県大会出場枠を勝ち取りました。市定期大会及び勿来体育協会会長杯大会では、三人団体としてそれぞれ三位、二位に入賞しました。これからの目標は、やはり地区を制することが第一です。そして、先輩がなし得なかった県大会での入賞を果たすことです。現在は、一年生の八名とともに、厳しい寒さに耐えながら毎日の稽古に励んでいます。冬が去り、やがて春が訪れた時に、ひとまわりもふたまわりも大きくなれるようにさらに頑張っていきたいと思っております。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

日頃より同窓生の皆様には、ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。今年度は震災の影響もあり、卒業生にとっては大変厳しい進路活動となりました。四月には、前年度卒業生の内定延期や取り消し等先行きの不安な状況でした。しかし、地元企業の方々のご協力や被災地雇用などの措置がとられたことや、生徒自身が危機感を持ち、早い段階から自分の進路目標を掲げたことなどで就職の内定状況は昨年度の同じ時期を上回る結果となっております。さらに、一度の失敗で諦めることなく、二度、三度と挑戦した生徒もおり、よい結果につながったのではないかと思います。内定後は、社会人としての心構えや常識のある行動について指導を行っております。また、未内定生徒へは、職業安定所に登録し、一般求人への応募や、就職支援員の方と協力しながら

進路状況 (H24. 2.17 現在)

	就職		進学		
	県内	県外	4年制大学	短期大学	専門学校等
男子	21人	9人	3人	1人	7人
女子	36人	10人	2人	2人	13人

- ◎主な就職先 (県内)
乙羽通商(株)、(株)アドバンス小名浜工場、(株)ドリームメイキングカンパニー、(株)佐川塗装店、石川テント(株)、(株)ザ・キッド、渡辺建設工業(株)、日本在宅医療福祉センター、(株)源太、オオヒラ貿易(株)、サンコープリント(株)、沢田板金店(県外)
(株)金太楼館本店、三菱マテリアル(株)、東京動力(株)、やすらぎの丘温泉病院、白寿会、(株)ハーツリーレストランシステム
- ◎主な進学先
いわき明星大学、聖徳大学、東北文化学園大学、いわき短期大学、香蘭女子短期大学、郡山情報ビジネス専門学校、日本デザイナー学院、東京ベルエポック美容専門学校、日本美容専門学校、水戸自動車大学校、山野美容専門学校、いばらき中央福祉専門学校、湘南平塚看護専門学校、池見東京歯科衛生士専門学校、リリー保育福祉専門学校、いわきコンピュータカレッジ、Iwakiヘアメイクアカデミー、郡山ヘアメイクカレッジ(通信制)、日本ナレーション演技研究所

最後に、同窓生の皆様方には、今後も卒業生がさまざまな場面でお世話になると思っております。ご協力をお願い申し上げます。

進路指導専任 佐藤 圭子
求人開拓に努め、進路の実現に向けて支援を継続しております。一、二年生では、昨年度から地元事業所にお世話になり実施している「インターンシップ」への参加者も増え、自ら希望職種や企業名を挙げる生徒も多く見られるようになりました。受け入れ事業所の方から取り組み状況についてお褒めの言葉も頂いております。

進学希望者については、ほとんどの生徒が進路希望を達成しております。進路決定後も基礎学力の向上に努め、進学先での学習を十分理解し、専門的な知識を身に付けることができるよう取り組んでいくとよいです。

卒業生の進路状況について



ありがとう

三年二組 古川和 弘

題名にも書いた、この一言「ありがとう」は、私の一番好きな言葉です。私の高校生活は、この一言だけでは済まされないうらい感謝にあふれた日々ばかりでした。特に一番そう実感したのは進路を決める時期でした。

私は中学校三年生の頃から、介護福祉士になりたいと思っていました。専門学校へ行く決心、毎日の授業や自主学習などを一生懸命行っていました。

正直、心のどこかでは「進学」ということを少し甘く見ていたことがありました。「どうせ大丈夫だろう。」と自分に甘かった頃もありました。しかし、進路ガイダンスや



高校生活で頑張ったこと

三年二組 鈴木愛美

高校三年間の中で私が一番大変だったことは、就職活動です。近年不況が続く、求人にも影響していると聞かされていきました。やはり来る求人は少なく、その中から自分にあった仕事を探すのはとても大変です。求人票を見て「いいな」と思い、実際に会社見学してみると、自分のイメージとは違うこともありまし

くださいました。私は、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

そして試験当日、私は家族全員に見送られながら、会場へ向かいました。移動中、私の携帯電話にメールが入っていました。家族からでした。「大丈夫。きっと受かる。」

私は夏休みに担任の先生と面接練習を行いました。しかし、ろくに練習していませんでしたので、質問をされても返答できなかったり、答えに詰まる始末でした。しかし、先生は私を責めることなく、こう言ってくださいました。

「自分を堂々とアピールすればいい。」 私はこの一言で救われた気持ちになりました。自分を大きく見せることは悪いことではないと、この面接練習で実感しました。さらに先生は、介護に関する資料を印刷して

切にしながら、生活していただくと思います。

この内定決定までの努力、また、高校三年間で学んできたことを忘れずに、社会人になつてからも努力し続け、頑張っていきたいと思えます。

後輩の皆さんに伝えたいことは、自分の進路実現のために、早めの行動をとること。欠席、遅刻を減らすこと。また、自分一人だけでなく、両親や先生方や友達の力を借りることも大切だということです。自分の夢をかなえるために「最後まで諦めない」で精一杯頑張ってください。

「母校の近況」

教頭 山崎 元康

同窓会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平成二十三年度は、東日本大震災がありましたが、校舎や生徒には特に影響もなく、四月十四日にスタートしました。部活動の主な活動状況は次の通りです。

- 各スポーツ部 (サッカー部, テニス部, 野球部, 剣道部, 美術部, 音楽部) の大会結果と表彰者リスト

同窓会報協力 金協賛御礼

平成18年度より同窓会の皆様にお願ひ致しました「同窓会報協力金」ですが、本年度も多くの方々に御賛同をいただきました。心より御礼申し上げます。

- 協賛者リスト (昭和37年3月卒から昭和41年3月卒までの卒業生)

Table with columns for graduation year (昭和), name, and address. Includes a section for '平成23年度 同窓会長賞受賞者'.